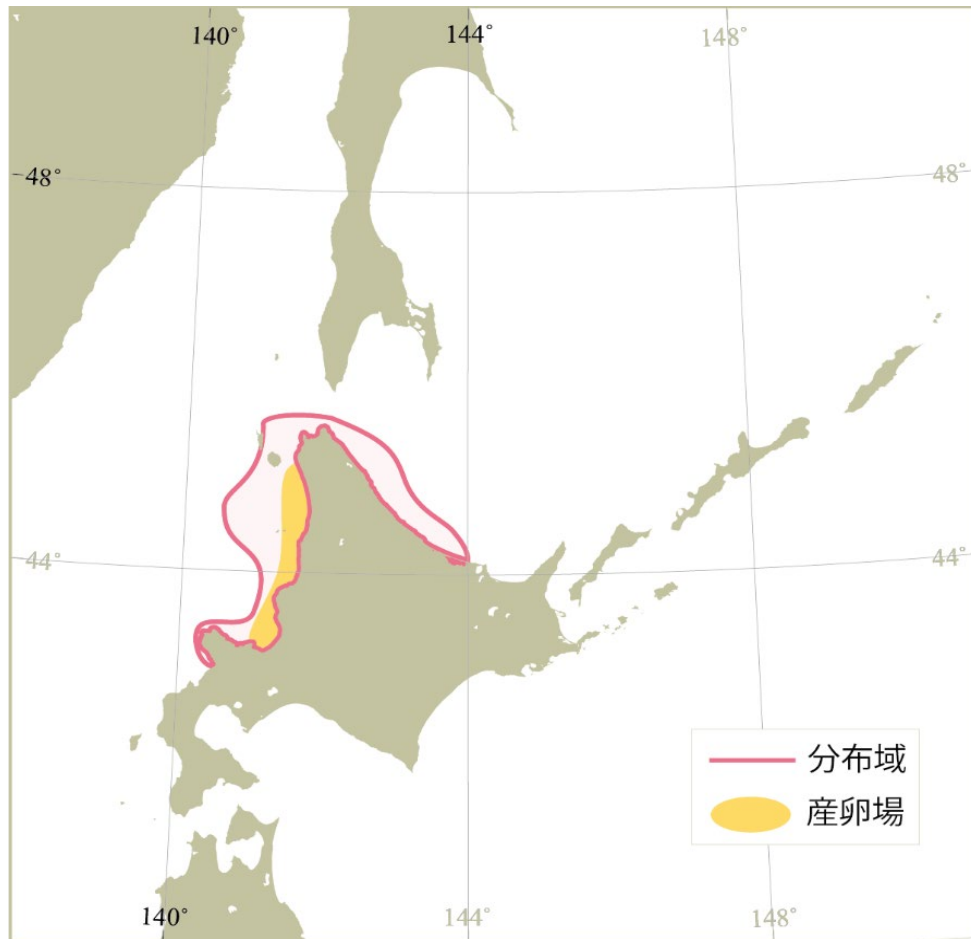




# マガレイ北海道北部系群 令和3年度資源評価結果

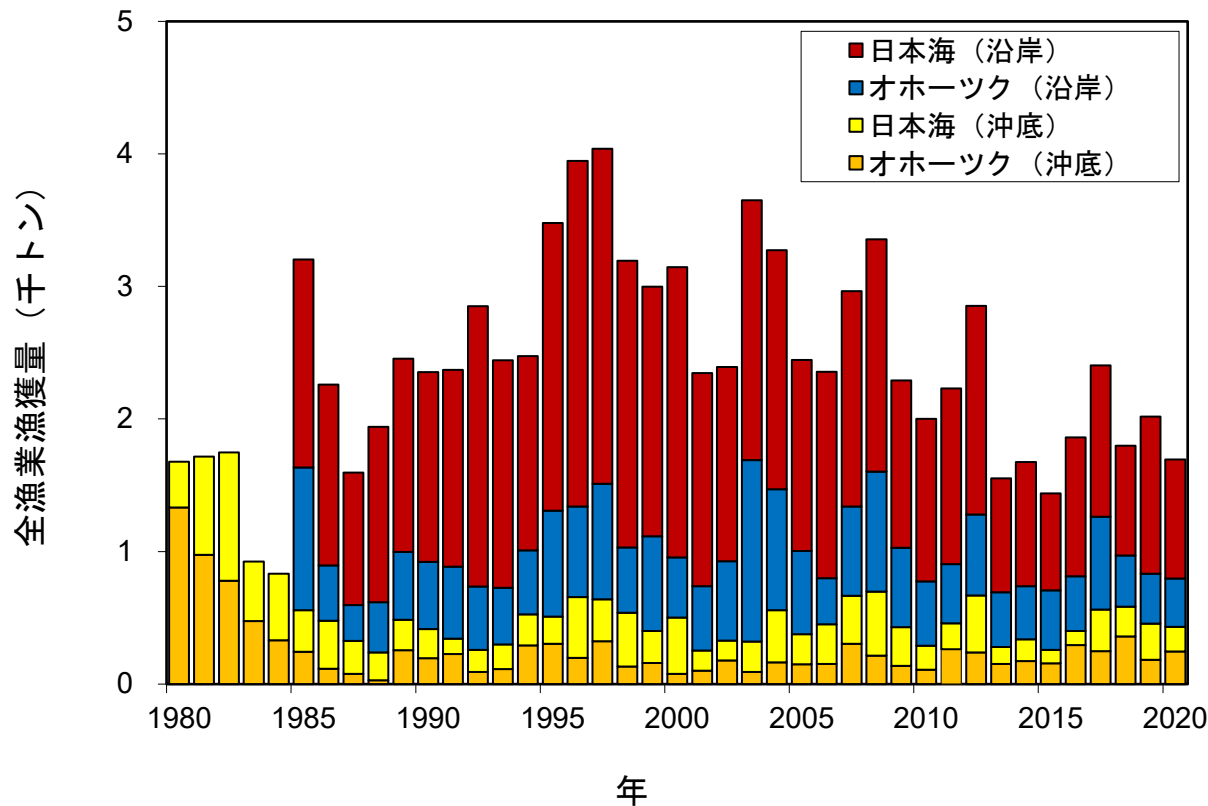
# 生物学的特性



## 生物学的特性

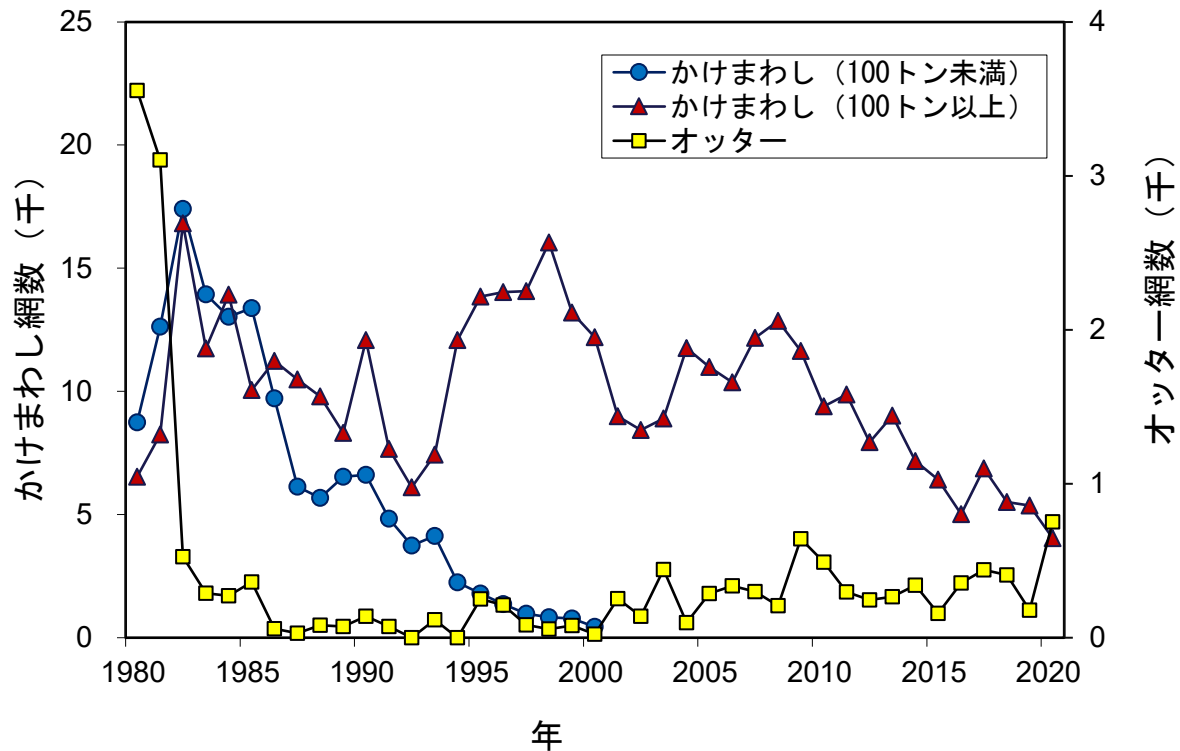
- 寿命：雄5歳、雌10歳以上
- 成熟開始年齢：雄1歳、雌2歳
- 産卵期・産卵場：4月～6月、石狩湾と苫前沖～利尻・礼文島周辺海域
- 食性：仔魚はカイアシ類、未成魚および成魚はゴカイ類、二枚貝類、ヨコエビ類、クモヒトデ類
- 捕食者：海獣類

# 漁獲の動向①



- 沿岸漁業および沖合底びき網漁業（沖底）で周年漁獲される
- 2020年の漁獲量：1,694トン（2019年：2,019トン）
- 漁獲量は日本海における沿岸漁業での割合が高い

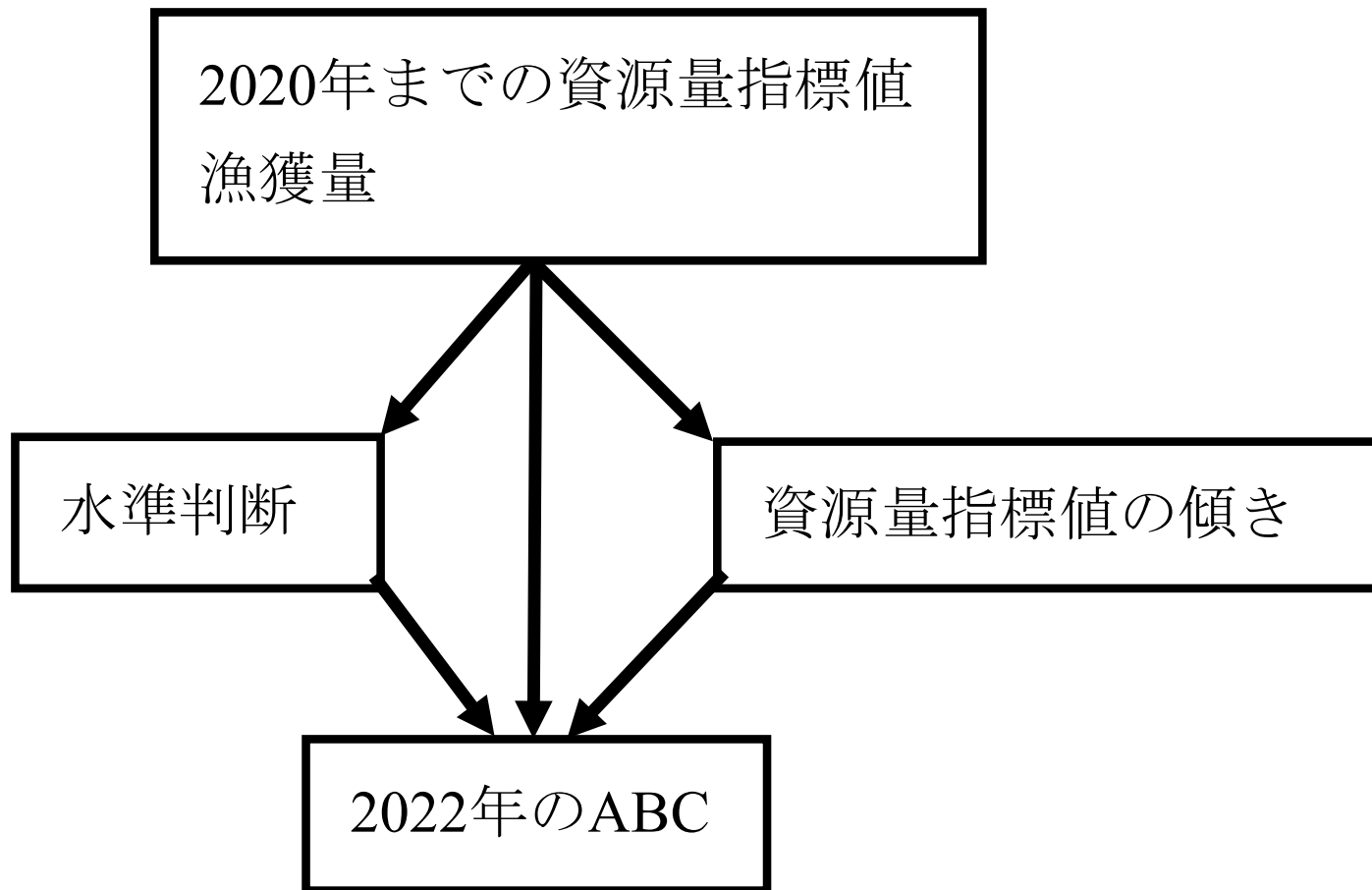
# 漁獲の動向②



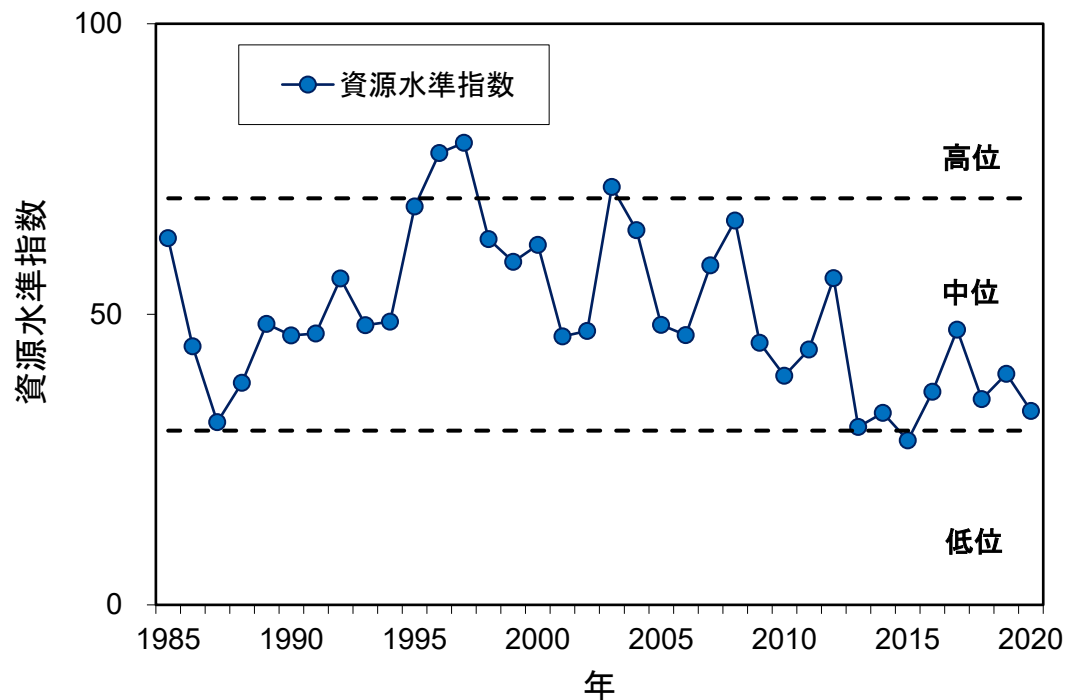
- 沖底による漁獲の主体となるかけまわし（100トン以上）の有漁網数は増減を繰り返しながら減少傾向にある

※有漁網数：マガレイの漁獲があった操業の曳網回数

# 資源評価の流れ



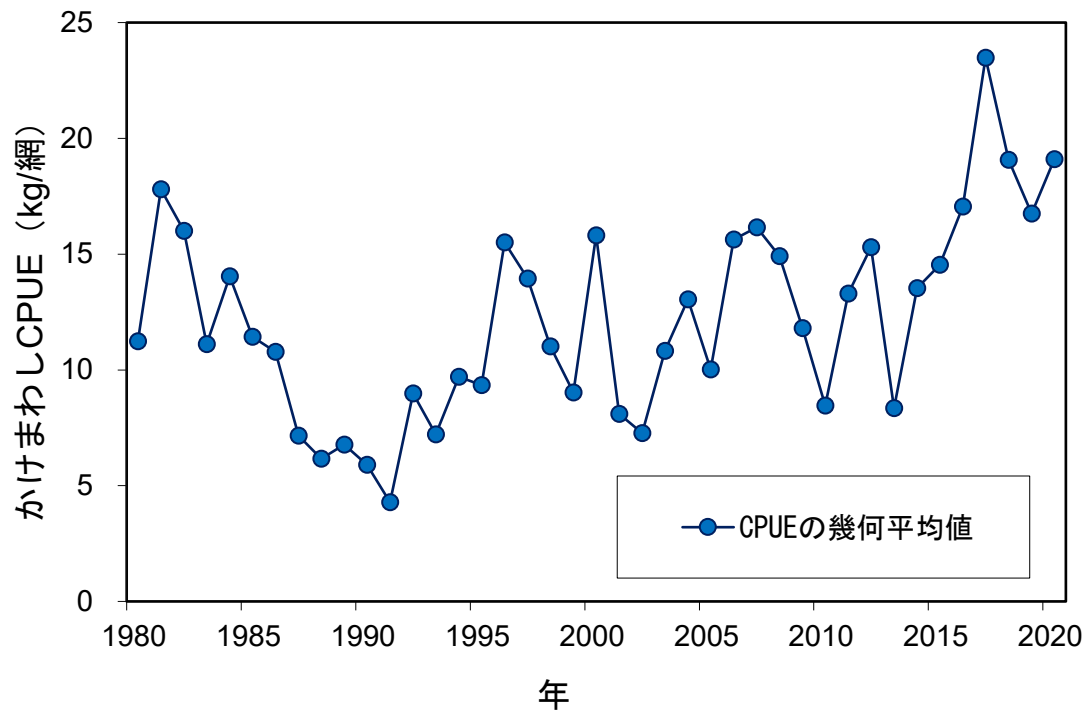
# 資源の動向①



※水準区分 低位／中位：資源水準指数30、中位／高位：資源水準指数70  
(1985年以降の漁獲量の平均値を50とし、各年の漁獲量を資源水準指数として算出)

- 1985年以降の沿岸および沖底の漁獲量の推移から資源水準を判断
- 資源水準：2020年の資源水準指数は33であり「中位」

## 資源の動向②



- 資源量指標値（沖底かけまわしCPUEの幾何平均値）により動向を判断
- 資源動向：直近5年間の資源量指標値の推移から「横ばい」

※CPUE：1網当たり漁獲量

# 資源評価のまとめ

- 資源水準は沿岸および沖底の漁獲量を指標値として判断
- 資源動向は沖底かけまわしのCPUEを指標値として判断
- 資源水準は中位、動向は横ばい

## 2022年ABC

管理基準	Target/Limit	2022年ABC (百トン)	漁獲割合 (%)	F値 (現状のF値からの増減%)
0.9・Cave3-yr・1.00	Target	13	—	—
	Limit	17	—	—

- 0.9 : Caveを用いる場合の低位水準の標準値
- Cave3-yr : 2018～2020年の平均漁獲量 (1,837トン)
- 1.00 : 資源量指標値の直近3年間の動向から決まる係数